

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	卒業：必修 幼一免：選択
担当教員			
安部 恵美子			

講義概要	到達目標①から⑤を達成するための具体的学習内容や討議内容は以下のとおりである。 ①保育現場と保育者の仕事 保育者と子どものかかわりの実態 保護者支援の実態 保育者集団の協働の実態 ②社会の変化と保育発展の関係 明治・大正期の保育者の活躍の様相 高まる保育職への期待 ③わが国の保育政策の特徴 先進国の保育政策動向 少子化克服に寄与する保育政策の特徴 ④子育て支援の場に求められる保育者の資質 新しい保育システムと保育者 保育者資格の高度化への対応 ⑤保育現場の子どもの貧困への対応 保育現場の地域間格差への対応 保育者の待遇改善と専門性の向上
授業計画	<p>1 保育職の意義と役割 教育する主体/世話する主体としての保育者の仕事内容を確認する</p> <p>2 保育職の仕事 1 保育実践の日常から保育者の仕事を整理する ①子どもを保育する</p> <p>3 保育職の仕事 2 保育実践の日常から保育者の仕事を整理する ②保護者の支援</p> <p>4 保育職の仕事 3 保育実践の日常から保育者の仕事を整理する ③園務と保育者集団の協働</p> <p>5 保育職 過去から未来へ 1 社会的保育の誕生と発達 of 必然性派生のプロセス 西欧編</p> <p>6 保育職 過去から未来へ 2 社会的保育の誕生と発達 of 必然性派生のプロセス 日本編</p> <p>7 保育職 過去から未来へ 3 保育の歴史に刻む保育者たち 明治期 (松野クララ 野口幽香 徳永恕ほか)</p> <p>8 保育職 過去から未来へ 4 保育の歴史に刻む保育者たち 大正・昭和期 (倉橋惣三 木戸幡太郎ほか)</p> <p>9 保育制度・保育職の国際比較 1 わが国の子ども・家庭支援に対する政策動向と保育所・幼稚園</p> <p>10 保育制度・保育職の国際比較 2 諸外国の保育制度のあらまし・保育職の地位</p> <p>11 保育職に関連する現在の諸問題 1 新しい保育制度構想と保育者資格の高度化</p> <p>12 保育職に関連する現在の諸問題 2 保育の地域格差の実態把握とその対応</p> <p>13 保育職に関連する現在の諸問題 3 子どもの貧困と教育格差の問題への保育者としての対処法</p> <p>14 保育者の身分保障とキャリア形成 1 保育者の労働実態 全国調査から</p> <p>15 保育者の身分保障とキャリア形成 2 保育者としてのキャリア形成に関するディスカッション</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①保育職の意義と役割に関する実践的理解を深める ②保育制度の発達と保育職の意義・役割の変化の関連を概観する ③保育制度や保育者資格に関する国際比較を行う ④多様化する現代の保育ニーズに対応する保育者の資質向上を考える ⑤保育職のキャリア形成に関する問題点を考察し、討議する
教科書・参考書	テキスト：特別に指定しません 参考書：『保育者論』 汐見稔幸・大豆生田啓友 編 ミネルヴァ書房 学習の円滑な促進を図るために課題ごとに必要な資料を作成し授業時に配布する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	いつでも対応しますが、出張が多いため事前に予約をすること
備考・メッセージ	